



プレスリリース

一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会

モナコヨットクラブおよびスーパーヨットエコ協会と国際協力協定を締結

— 日本のマリーナを起点に、次世代へつなぐマリン産業の未来を志向する —

2026年4月15日

モナコ公国・モナコ

一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会（所在地：東京都千代田区、会長：熊澤喜一郎、以下 JMBA）は、2026年4月15日、モナコ公国において、\*\*モナコヨットクラブ（Yacht Club de Monaco、以下 YCM）ならびにスーパーヨットエコ協会と、それぞれ覚書（MoU）およびパートナーシップ協定を締結し、モナコヨットクラブにて正式に協定を結びました。

本協定は、日本と欧州の代表的なマリン関連団体が連携し、持続可能で先進的なマリーナ運営、国際的なマリン文化の交流、ならびに次世代を担う人材・利用者層の創出を目的とするものです。

---

日本のマリン事業が直面する危機的状況と、国際連携の必要性

現在、日本のマリン業界は、

- 若年層の海離れ
- ボートオーナー層の高齢化
- マリーナ利用の固定化

といった構造的課題に直面しており、産業全体が転換期を迎えています。

JMBA はこれらの課題を、日本国内のみで解決するのではなく、欧米に根付くマリン文化とマリーナ運営の思想を日本に取り込み、日本独自の進化へつなげる必要があると考えています。

本協定により、JMBA は YCM をはじめとする欧米のヨットクラブ、マリーナ運営の知見、文化、価値観と連携し、日本のマリン事業のベースとなる全国のマリーナを起点として、新たな方向性を示していきます。

---

若年層へ「海への入口」をつくる

欧米において、ヨットクラブやマリーナは単なる船の保管場所ではなく、地域と一体となった文化・教育・交流の拠点として機能しています。

JMBA は本連携を通じて、

- ヨットクラブ文化
- マリンを軸としたライフスタイル
- 持続可能性・環境意識と結びついた海の楽しみ方  
を日本のマリナーへ紹介することで、特に若年層がマリンに関心を持ち、海と関わるきっかけを創出することを目指します。

---

ラグジュアリーヨット（スーパーヨットを含む）受入れに関する知見の共有

今後、日本においても、より大型のラグジュアリーヨット（スーパーヨットを含む）の保管・寄港・運航ニーズは確実に増加すると見込まれています。

本協定では、

- ラグジュアリーヨット（スーパーヨットを含む）の安全かつ適切な保管・管理体制
- 環境負荷の可視化と削減に向けたスーパーヨットエコ協会の知見
- 海外から日本へ渡来するラグジュアリーヨット（スーパーヨットを含む）の受入れ対応  
といった分野における情報共有・意見交換を行い、得られた知見を全国のマリナーへ紹介し、業界全体へ浸透させていきます。

---

マリナーが地域とともに発展する未来へ

JMBA は、本協定を起点として、

欧米のようにマリナーが地域と一体となり、観光、産業、文化の中心として発展するモデルを日本各地で築くことを目指します。

海に開かれたマリナーを核に、人が集い、学び、楽しみ、誇りを持てる地域づくりへ。

本連携は、そのための確かな礎となるものです。

---

協定概要

- 調印日：2026年4月15日
- 調印場所：モナコヨットクラブ（モナコ公国）
- 締結先：
  - 一般社団法人 日本マリナー・ビーチ協会（JMBA）
  - モナコヨットクラブ（Yacht Club de Monaco）
  - スーパーヨットエコ協会（Superyacht Eco Association）

---

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本マリナー・ビーチ協会

理事長 八鍬 隆

E-mail: [yakuwa@jmba.or.jp](mailto:yakuwa@jmba.or.jp)

---